

エコアクション 21  
環境経営レポート

実施期間 2022年4月1日～2023年3月31日



相互運輸機設株式会社

発行日：2024年6月18日

改定日：2024年7月8日

## 目 次

I. 組織の概要	.....	3
II. 実施体制図	.....	5
III. 環境経営方針	.....	6
IV. 中期環境経営目標	.....	7
V. 環境経営計画	.....	8
VI. 環境経営目標の実績	.....	9
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価及び今後の取組	.....	10
VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無価	.....	11
IX. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	...	12

# I. 組織の概要

## 1. 概要

- (1) 事業者名及び代表者名相互運輸機設株式会社  
代表取締役社長 大澤 誠司
- (2) 所在地  
本社 愛知県尾張旭市晴丘町池上 9 番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先責任者・担当者 大澤 由紀  
TEL : 0561-51-0371 FAX : 0561-52-2279  
E-Mail : y.osawa@sougo-o.co.jp

- (4) 事業内容  
重量物の移設・運搬・据付、工場のライン設備等の移設・解体・撤去  
産業廃棄物収集運搬業、特別産業廃棄物収集運搬業

### 【許可内容】

一般建設業 機械器具設置工事業

愛知県知事許可 (般-2)第 62679 号 有効期限令和 7 年 8 月 9 日

### 産業廃棄物収集運搬業

愛知県知事許可 第 02300221396 号 有効期限令和 8 年 5 月 20 日

岐阜県知事許可 第 02100221396 号 有効期限令和 8 年 5 月 24 日

三重県知事許可 第 02400221396 号 有効期限令和 8 年 5 月 31 日

長野県知事許可 第 2009221396 号 有効期限令和 11年 6 月 3 日

### (事業の範囲)

積替え、保管を除く

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、  
木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず  
及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ダスト類

以上 15 品目 (三重県はダストに代わりばいじん表記)

### 特別産業廃棄物収集運搬業

愛知県知事許可第 02350221396 号 有効期限 令和 8 年 5 月 20 日

### (事業の範囲)

積替え、保管を除く

引火性廃油、腐食性廃酸、廃食性廃アルカリ、特定有害廃石綿等

以上 4 品目

## (5) 事業の規模

法人設立年月日 : 1977 年 4 月 30 日

資本金 : 1000 万円

売上高 : 28850万円 (2023 年度)

従業員 : 9 名 (2024 年 3 月)

事務所延べ床面積 : 50 m<sup>2</sup>

(6) 建設量実績 535件

(7) 産業廃棄物収集運搬量 30.50t

(8) 車両・設備 一覧

トラック (収集運搬車両)

自動車登録番号	最大積載量
尾張小牧 130 な 36	1400kg
尾張小牧 130 せ 838	13000kg
尾張小牧 130 む 81	12400kg
尾張小牧 130 さ 577	8700kg
尾張小牧 130 て 54	6500kg
尾張小牧 100 め 333	5900kg

フォークリフト

自動車登録番号	仕様
尾張小牧 900 る 234	ディーゼル8t
尾張旭市 の 727	電気2.5t
尾張旭市 の 660	ディーゼル2.5t
尾張旭市 の 573	ディーゼル2.5t
尾張旭市 の 1158	電気2.5t
車番なし	電気4t

ハイエース

自動車登録番号	最大積載量
尾張小牧 433 ゆ 9	1000 (850) kg
尾張小牧 132 せ 18	1000 (850) kg

(9) 事業年度  
4月～3月

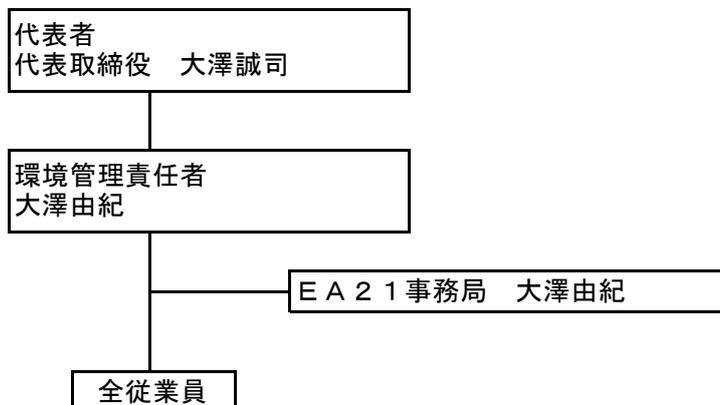
2. 認証・登録の対象組織・活動

対象組織： 相互運輸株式会社 本社  
対象活動： 全組織・全活動

## II. 実施体制図

### 1. EA21 の取組体制

従業員数 9名



### 2. 環境経営システムの役割と責任

	担当	役割・責任・権限
代表者	代表取締役 大澤 誠司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の策定</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・資源（人員・設備・費用等）の準備</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し</li> </ul>
環境管理責任者	大澤 由紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況を代表者に報告</li> <li>・外部からの苦情等の受付</li> <li>・環境活動レポートの作成</li> </ul>
事務局	大澤 由紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境関連文書及び記録の作成・管理等</li> <li>・環境活動計画の実施状況確認</li> </ul>
全従業員	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組みの重要性の理解</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### Ⅲ. 環境経営方針

当社は、機械器具設置工事業の事業活動において、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムの構築及び運用することにより、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規則や当社が約束したその他の要求事項を遵守します。
2. 次の事項について具体的は環境目標・環境活動計画を定め実施します。
  - ①省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
  - ②分別の徹底・リサイクルの推進につとめ廃棄物排出量を削減します。
  - ③節水に努め水の使用量を削減します。
  - ④有害な化学物質の使用量の削減に努めます。
  - ⑤環境に配慮した工事作業に努めます。
  - ⑥社会貢献活動を積極的に行います。
  - ⑦新規顧客・新規作業の獲得に努めます。
  - ⑧従業員育成(技術力・効率化・意識向上・環境意識)に努めます。
3. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日 2021年 8月 4日

改定日 2023年 6月 15日

相互運輸機設株式会社

代表取締役 大澤 誠司

## IV. 中期環境経営目標

項目		単位	基準値	目標数値				
			2020.4～ 2021.3	2023.4～ 2024.3	2024.4～ 2025.3	2025.4～ 2026.3	2026.4～ 2027.3	2026.4～ 2027.3
二酸化炭素の削減	電力使用量 (事務所)削減	kwh	8,479	3% 8,225	4% 8,140	5% 8,055	6% 7,970	7% 7,885
	電力使用量 (フォークリフト充電)削減	kwh	2,215	3% 2,149	4% 2,126	5% 2,104	6% 2,082	7% 2,060
	電力使用量削減 合計	kwh	10,694	3% 10,373	4% 10,266	5% 10,159	6% 10,052	7% 9,945
	ガソリン使用量 削減	L	5,729.8	3% 5,557.9	4% 5,500.6	5% 5,443	6% 5,386	7% 5,329
	軽油使用量 削減	L	38,999	3% 37,829.03	4% 37,439.04	5% 37,049	6% 36,659	7% 36,269
	灯油使用量 削減	L	117	3% 113	4% 112	5% 111	6% 110	7% 109
	LPG使用量 削減	kg	54.75	3% 53.11	4% 52.56	5% 52	6% 51	7% 51
	二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	118,975.25	3% 115,405.99	4% 114,216.24	5% 113,026	6% 111,837	7% 110,647
産業廃棄物 排出量		kg	数量確認	把握 ←	把握 ←	把握 ←	把握 ←	把握 ←
一般廃棄物 排出量の削減		kg	265.4	3% 257	4% 255	5% 252	6% 249	7% 247
節水	水使用量削減	m <sup>3</sup>	118	3% 114.46	4% 113.28	5% 112	6% 111	7% 110
化学物質の適正管理 購入量の把握		—	適正管理	適正管理 ←	適正管理 ←	適正管理 ←	適正管理 ←	適正管理 ←
その他	安全に配慮した 工事施工 (事故ゼロ)	件	0	100% 0	100% 0	100% 0	100% 0	100% 0
	環境に配慮した 工事施工	Co2削減・環境活動 に配慮する		達成	達成	達成	達成	達成
	地域貢献 (清掃活動)	回	12	100% 12	100% 12	100% 12	100% 12	100% 12

※電力の二酸化炭素の調整前排出係数は中部電力の2021年度0.449kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用する。  
電力の充電時とは「電動フォークリフトの充電時」のこと(200V電源)。産業廃棄物の発生は無い。

※産業廃棄物・特別管理産業廃棄物は、数量削減が不可能なため数字は把握とする。

## V. 環境経営計画

環境目標に掲げた数値目標を達成するために、各項目の具体的な取り組み内担当者を決め、以下に示す。

環境方針	取組項目	具体的な取り組み内容	担当者
二酸化炭素排出量削減	電力の使用量削減	冷暖房の使用時は設定温度を標準化して使用	大澤由紀
		PC・コピー機の省電力モードを有効にし、使用後は電源を切る	
		不要照明の消灯の徹底	
		昼休み時、残業時、退社時の節電徹底	
	ガソリン・軽油の使用量削減	エコドライブの徹底	大澤誠司
		現場に行く際は、乗り合わせを検討	
		購入時にエコカーへの切り替え検討	
	灯油の使用量削減	一定時間以上作業場所を離れる際は、ストーブの消火徹底（防火対策含む）	
	LPGの使用量削減	不要時は使用しないようにする	
	産業廃棄物の排出量		排出量の数字把握
		廃棄物の分別の徹底	
廃棄物の削減	一般廃棄物の排出量削減	裏紙を再利用し、紙使用量の削減実施	大澤由紀
		私物ゴミの持ち帰り徹底	
		軍手の再利用	
節水	上水使用量の削減	節水の意識向上（ステッカーを作成し貼る）	大澤由紀
		洗車時間の短縮を工夫する	
化学物質の適正管理		塗料等購入の記帳	大澤由紀
その他	安全に配慮した工事施工（事故ゼロ）	作業前・作業後、KYミーティングの徹底	大澤誠司
	環境に配慮した工事施工	作業前・作業後、KYミーティングの徹底	
	地域貢献（清掃活動）	地域環境美化活動に参加する（会社周辺の道路を清掃する）	

## VI. 環境経営目標の実績

環境方針	項目	単位	目標	実績	削減率	評価
			2023.4~ 2024.3	2023.4~ 2024.3		
二酸化炭素の削減	電力使用量 (事務所)削減	kwh	3% 8,225	7,766	-5.58%	○
	電力使用量 (ファクト充電)削減	kwh	3% 2,215	1,983	-10.47%	○
	電力使用量削減 合計	kwh	3% 10,694	9,749	-8.84%	○
	ガソリン使用量 削減	L	3% 5,729.8	586.0	-89.77%	○
	軽油使用量 削減	L	3% 38,999.00	47600.58	22.06%	×
	灯油使用量 削減	L	3% 117	0.00	-100.00%	○
	LPG使用量 削減	kg	3% 54.75	18.63	-65.97%	○
	二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	3% 118,975.25	128,602.21	8.09%	×
	産業廃棄物 排出量	kg	把握 ←	把握 ←	—	○
	一般廃棄物削減	kg	3% 257	236.1	-8.13%	○
節水	水使用量削減	m <sup>3</sup>	3% 114.46	113.00	-1.28%	○
	化学物質の適正管理	kg	適正管理 —	適正管理 実施	—	○
その他	安全に配慮した 工事施工 (事故ゼロ)	件	100% 0	0	—	○
	環境に配慮した 工事施工	Co2 削減・環境活動 に配慮する		実施	—	○
	地域貢献 (清掃活動)	回	12	12	—	○

※電力の二酸化炭素の調整前排出係数は中部電力の 2021 年度 0.449kg-CO2/kWh を使用する。

※削減率=実績÷目標-1

※産業廃棄物・特別管理産業廃棄物は、数量削減が不可能なため数字は把握とする。

## VII. 環境経営計画の取組結果とその評価及び今後の取組

環境目標項目	達成状況	環境活動計画実施状況 達成・未達成の要因	今後の環境活動計画への取組
電力(事務所)使用量削減	達成	従業員の意識の向上により電力使用量削減が達成できた	照明の順次LED化や従業員へ更なる省エネの意識付、自主的に実施できる環境の作りを行いたい
電力(フォークリフト充電)使用量削減	達成	従業員の意識の向上により全体的な電力使用量について削減が達成できた	仕事量の増減の変動があるため、平均的な数値が見通せないため、さらにデータを取り適切な対応を実施できるよう努めたい
電力使用量削減	達成	従業員の意識の向上により全体的な電力使用量について削減が達成できた	従業員へ更なる省エネの意識付、自主的に実施できる環境の作りを継続的にやりたい
ガソリン使用量削減	達成	2023年度から、個人車両の通勤用ガソリン代を会社支払いとしていたものを中止し総合額の支払いに変更したため大きく減少した。ただ社長の個人車両に関しては、必要に応じた工事現場への使用等あるので会社支払いとしている。	次年度(2024年度)からは、社長車両もガソリンの会社扱いは中止する。従って2024年度以降ガソリン使用はなくなり、環境目標から除外する。
軽油使用量削減	未達成	エコドライブを徹底していたが、仕事量の増加に伴い走行距離も増加し削減が達成できなかった	エコドライブの継続運用 従業員の意識向上、無駄な走行、アクセルワークなど使用者の意識工場の徹底。 今後、環境目標の見直し(原単位評価)も検討する。
灯油使用量削減	達成	防寒着の作成と灯油ストーブから電気ストーブへの切替をしたため削減達成できた	電気ストーブも同様に、一定時間以上作業場所を離れる際はストーブの消火を徹底したい
LPG使用量削減	達成	作業者の意識向上により給湯器の使用が削減され達成できた	現在の活動を継続する
二酸化炭素排出量削減	未達成	軽油以外の使用量の目標値達成できたが、仕事量の増加に伴い走行距離も増加し軽油使用量増加となり削減が達成できなかった	上記、軽油使用量削減目標を走行距離の原単位目標とした場合は、数値削減目標は「数値把握」に変更し、基準値の項には、基準年度のCO2排出量を記載する。
産業廃棄物排出量	達成	数値把握と分別を徹底した	現在の活動を継続する
一般廃棄物排出量削減	達成	基本は紙ごみ削減のため、再生紙の使用率を向上、私物ゴミの持ち帰るよう呼びかけることにより達成できた	現在の活動を継続する
水使用量削減	達成	従業員の意識の向上により全体的な水使用量について削減が達成できた	従業員への周知をし、呼びかけ・節水ラベルの表記などによる意識付の活動を継続する
化学物質の適正管理	達成	購入量の台帳管理を行った結果、使用量を明確に把握することができた	出来るだけ作業をまとめて行うなど業務が増加した際の使用率を考えて今後も作業を行いたい
環境・安全に配慮した工事施工(事故ゼロ)	達成	作業前・作業後のKYミーティングと、従業員各自の意識向上により達成できた	従業員全員の環境・安全意識の向上と無事故を引続き継続できるよう常に意識を持って活動したい
地域貢献活動(清掃活動)	達成	毎月会社周辺道路の清掃を従業員全員で行うことにより達成できた	現在の活動を継続する

## VIII. 環境関連法規制と遵守状況評価と違反・訴訟等の有無

### 1. 環境関連法規制

関係する法律		適用される要求事項	遵守状況
大気汚染	愛知県民の生活環境の保全に関する条例	・アイドリングストップ	○
騒音・振動	騒音・振動規制法	・自動車騒音規制基準の順守	○
廃棄物	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社運搬の場合運搬車輛への表示、マニフェスト、許可証の携帯</li> <li>・マニフェストの適正管理及び5年間保持</li> <li>・産業廃棄物管理票の交付等状況報告の提出</li> <li>・委託基準の遵守</li> <li>・収集運搬業許可証の更新 ・排出事業者との契約</li> <li>・運搬車輛への表示、マニフェスト、許可証の携帯</li> </ul>	○
愛知県産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例		<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の運搬・処分業者の定期的な確認・記録の保存</li> <li>・県外産業廃棄物処分の届出等</li> </ul>	○
消防	消防法	・消火器の点検を実施	○
リサイクル	家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄時、導入メーカーへの引き渡し</li> <li>・廃棄時、引取り証明書の受領</li> </ul>	—
	自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄時、導入メーカーへの引き渡し</li> <li>・廃棄時、引取り証明書の受領</li> </ul>	○
化学物質 毒劇物	毒劇物取締法	・化学物質（シンナー中のキシレン）の適切な管理	○
化学物質	PRTR法	・化学物質（シンナー中のキシレン）の適切な管理	○
大気汚染	自動車NOx・PM法	・基準適用者の使用	○

遵守状況「—」については対象期間中、実績なしを示す

### 2. 違反・訴訟等の有無

環境関連法規につきましては、現在違反はありません。  
また、過去3年間関係当局より違反等の指摘、訴訟事項はありません。

## Ⅸ. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

### 1. 見直しに必要な情報

環境目標の達成状況	電気使用量は目標比-8.84%と削減できましたが、仕事量の増加によりトラックの使用頻度も増え軽油使用量は目標比22.06%と増加しました。その結果二酸化炭素排出量は8.09%増となり、目標は未達成となりました。その他の項目については目標の達成ができました。 特に、軽油使用量については仕事量の増減の変動があり、平均的な数値が見通せないため、さらにデータを取り適切な対応を実施できるよう努めます。
環境活動計画の実施状況	環境活動状況は問題なく実施しています。 エコアクション 21 の活動を始め、前年同様に社員の意識変化を感じることができました。継続して省エネ活動を行います。
環境法令の遵守状況	環境関連法規は遵守しています。 環境関連法規への違反はありません。
外部からの環境に関する苦情や要望等	外部からの苦情、特になし
問題点の是正・予防報告書	軽油使用量に関する是正処置書作成。今後の傾向を見て対応する。
その他変更の必要な項目等	特になし

### 2. 代表者による変更の必要性の判断

項目	変更の必要性	指示事項
環境経営方針	有 ・ <input type="radio"/> 無	
環境経営目標	有 ・ <input type="radio"/> 無	
環境経営計画	有 ・ <input type="radio"/> 無	
実施体制	有 ・ <input type="radio"/> 無	
環境経営システム	有 ・ <input type="radio"/> 無	
その他変更の必要な項目	有 ・ <input type="radio"/> 無	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>仕事量も順調に回復してきたことに伴い、軽油使用量の増加となってしまったこともあり、二酸化炭素排出量について削減が出来ませんでした。</p> <p>EA21取り組み開始後、継続した従業員の意識向上の結果、他項目については全て達成できました。</p> <p>業務上、軽油使用量の削減が難しい点もありますが、二酸化炭素排出量削減を目指し引き続き削減を継続できるよう常に意識を持ち活動に努めると共に、今後、走行距離による原単位目標の検討もしたいと思います。</p> <p>又、ガソリン使用量に関しては、P-10の「環境経営計画の取組結果とその評価及び今後の取組」に記載したように、2024年度からガソリン使用はなくなるため、環境目標から除外します。</p> <p>政府も 2050 年二酸化炭素排出量ゼロを目標としました。企業としてもこの取組に参加すべく従業員一丸となって、省エネ活動に取り組んでいきます。</p>		